

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

3 調査期間

平成29年11月1日(水)~14日(火)

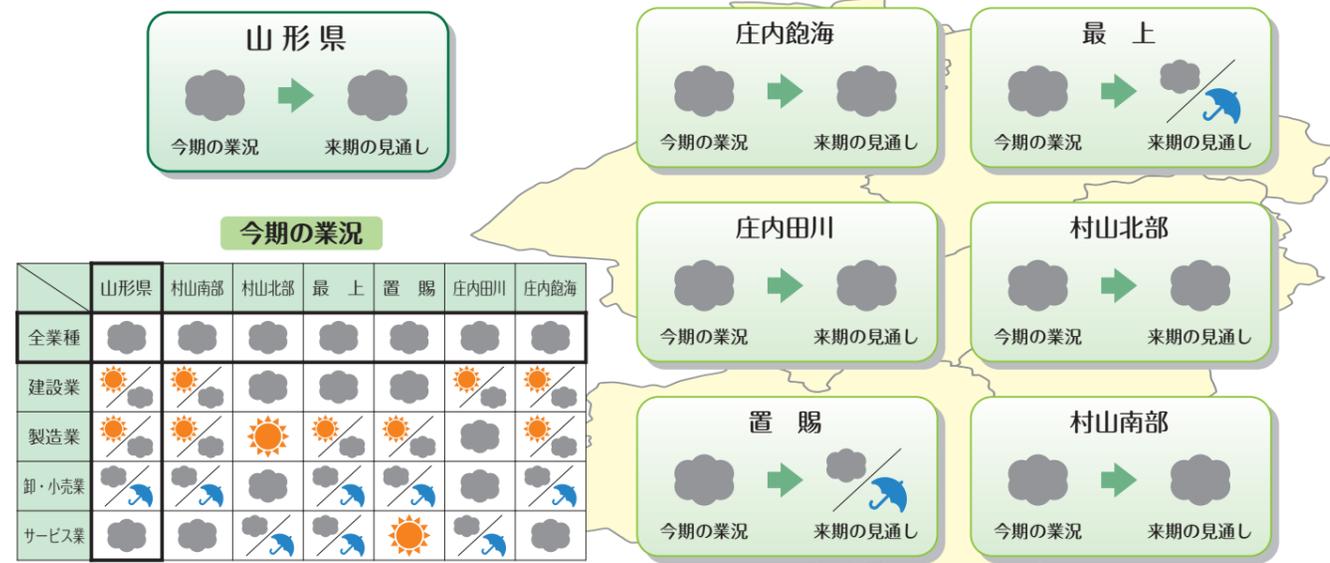
4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形680社、秋田630社
有効回答数 山形418社、秋田401社
回答率 山形61.5%、秋田63.7%

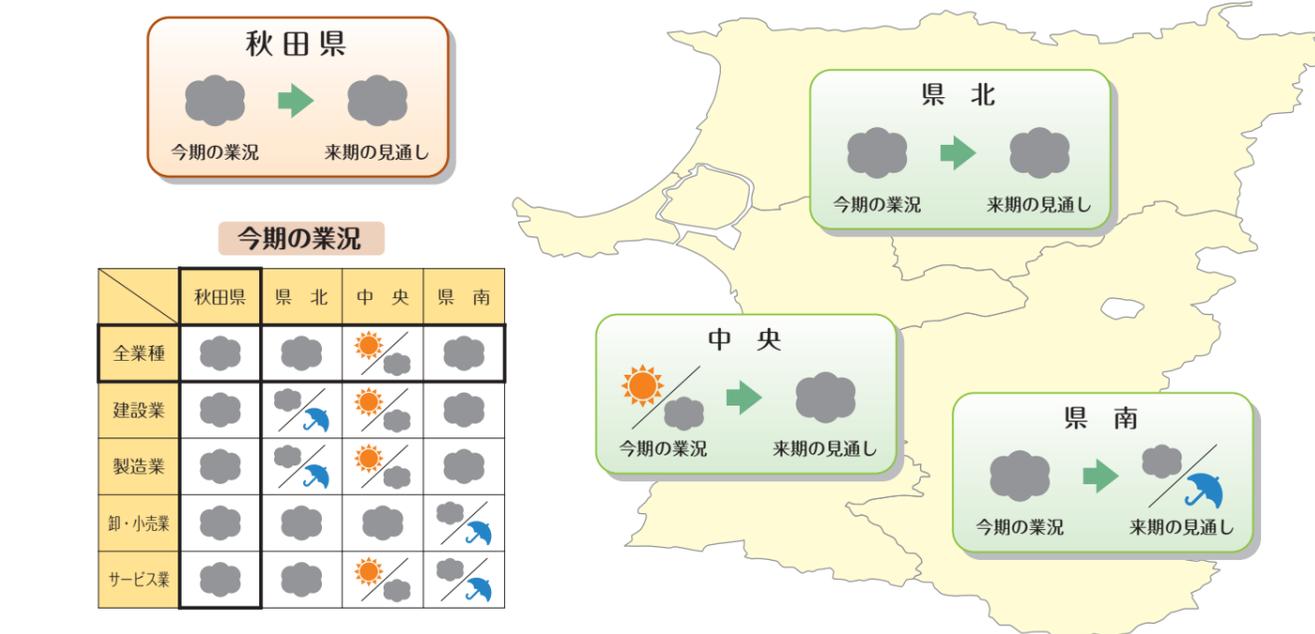
特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI \geq 30	30>DI \geq 10	10>DI \geq ▲10	▲10>DI \geq ▲30	▲30>DI

▶ 景気天気図

第53回「山形県内企業の景気動向調査」



第26回「秋田県内企業の景気動向調査」

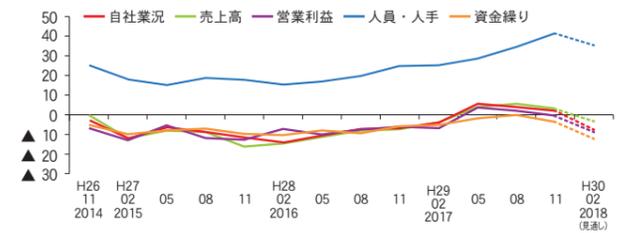


▶ 自社業況の動向

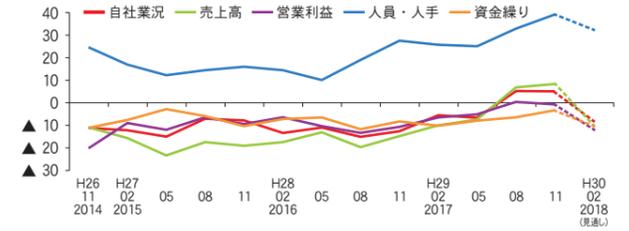
山形県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が3.3(前回調査比1.1ポイント下落)と2期連続でやや悪化となったものの、引き続きプラスで推移している。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「人員・人手」が改善、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化となった。

秋田県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が5.0(前回調査比0.4ポイント下落)と2期ぶりに悪化したものの、ほぼ横ばいで推移し、2期連続でプラスの値となった。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「売上高」「人員・人手」「資金繰り」が改善、「営業利益」が悪化となった。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



▶ 業種別の動向

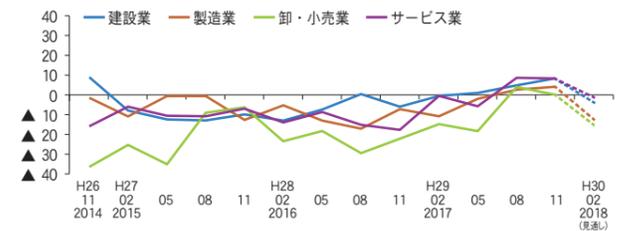
山形県の業況(前年同期比)を業種別にみると、製造業と卸・小売業で改善した一方、建設業とサービス業で悪化となっている。先行きは、卸・小売業で改善するものの、建設業、製造業、サービス業で悪化の見込みとなっている。

秋田県の業況(前年同期比)を業種別にみると、建設業と製造業で改善した一方、卸・小売業とサービス業は悪化となっている。なお、サービス業は悪化したものの、改善した建設業、製造業とともに引き続きプラスを維持した。先行きは、すべての業種で悪化が見込まれる。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

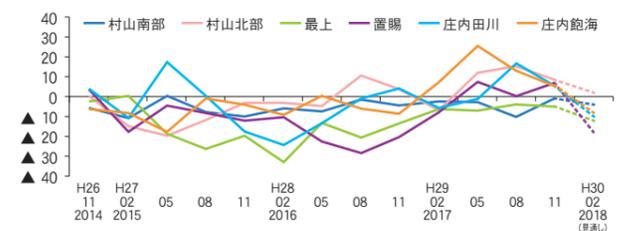


▶ 地域別の動向

山形県の業況(前年同期比)を地域別にみると、村山南部と置賜で改善した一方、村山北部、最上、庄内田川、庄内飽海で悪化となった。なお、庄内飽海は悪化したものの4期連続のプラス、村山南部は依然マイナスながら3期ぶりの改善となった。

秋田県の業況(前年同期比)を地域別にみると、県南が改善した一方、県北と中央が悪化となった。なお、中央は2期ぶりの悪化となったものの、4期連続でプラスを維持した。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

